

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	中央不動産鑑定株式会社
杉並(都) - 17	東京都	区部第 8	氏名	不動産鑑定士 小國 敏雄

鑑定評価額	106,000,000 円	1 ㎡当たりの価格	626,000 円 / ㎡
-------	---------------	-----------	---------------

1 基本的事項

(1) 価格時点	令和 6 年 7 月 1 日	(4) 鑑定評価日	令和 6 年 7 月 4 日	(6) 路線価	[令和 6 年1月]	480,000 円 / ㎡
(2) 実地調査日	令和 6 年 6 月 25 日	(5) 価格の種類	正常価格	路線価又は倍率	倍率種別	倍
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		杉並区天沼一丁目4 0 7 番 7 「天沼 1 - 8 - 4」				地積 (㎡)	170 ()	法令上の規制等			
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給 処理施設 状況	主要な交通施設との 接近の状況		1 中専 (60,200) 準防 高度(2種) (その他)			
	1 : 1	住宅 L S 2	中小規模一般住宅、アパ ートが建ち並ぶ住宅地域		西4 m 区道	水道 ガス 下水	荻窪700 m		(70,160)			
(2) 近 隣 地 域	範囲	東 10 m、西 50 m、南 25 m、北 75 m				標準的使用	低層住宅地					
	標準的画地の形状等		間口 約 13 m、奥行 約 13 m、規模 170 ㎡程度、形状 正方形									
	地域的特性	特記 特にない		街 基準方位北、 4 m区道		交通	荻窪駅北東方700 m		法令	1 中専 (70,160) 準防 高度(2種)		
		事項		路		施設			規制			
(3) 最有効使用の判定			低層住宅地				(4) 対象基準地 の個別的 要因	方位 +2.0				
	(5) 鑑定評価の手法 の適用	取引事例比較法	比準価格 628,000 円 / ㎡									
		収益還元法	収益価格 415,000 円 / ㎡									
		原価法	積算価格 / 円 / ㎡									
		開発法	開発法による価格 / 円 / ㎡									
(6) 市場の特性		同一需給圏は、主として J R 中央・総武線沿線等の各駅に近い圏域であり、需要者の中心は杉並区及び周辺地域の一次取得者層と考えられる。自用目的が中心となるが収益物件としての需要者も存するものと考えられる。新宿にも近く、住宅地として成熟していることから需要の中心となる価格帯は、基準地と同程度の規模の土地で1 億円～1.1 億円程度と判断された。										
(7) 試算価格の調整・ 検証及び鑑定評価 額の決定の理由		近隣地域は荻窪駅から徒歩圏内に位置する一般住宅が多い住宅地域であり、取引の中心は居住快適性、利便性を重視した戸建住宅である為、収益性よりも市場性を反映した価格形成がなされるものと思料される。以上を検討の結果、取引事例に基づく比準価格を重視し、収益価格を参酌し、指定基準地等との検討を踏まえ、鑑定評価額を上記の通り決定した。										
(8) 公規価 示準格 価と 格し をた	代表標準地	標準地	時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的 要因の 比較	対象基準地 の標準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標準 街路 0.0	地 街路 -2.0		
	標準地番号						準 交通 0.0		域 交通 +1.0			
	杉並	- 38					化 環境 0.0		要 環境 +2.0			
	公示価格		[102.6]	100	100	[102.0]	補 画地 +2.0		因 行政 0.0			
		605,000 円 / ㎡	100	[102.0]	[101.0]	100	615,000	正 行政 0.0	その他 0.0			
(9) 指か 定ら 基の 準検 地討	指定基準地番号		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的 要因の 比較	対象基準地 の比準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標準 街路 0.0	地 街路 +1.0		
	杉並(都)	- 18					準 交通 0.0		域 交通 +2.0			
	前年指定基準地の価格		[107.3]	100	100	[102.0]	補 画地 +5.0		因 行政 -6.0			
	657,000 円 / ㎡	100	[105.0]	[109.4]	100	626,000	正 行政 0.0		その他 0.0			
(10) 対年ら 象標の 基準検 準価討 地格の 等前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 583,000 円 / ㎡			価 変 動 形 成 状 況 要 因 の	〔 一般的 要 因 〕	インフレ、実質賃金率の低迷、金利上昇等の影響により、経済的な不透明感はあるが、国内経済は回復基調にあるものと推察する。						
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点) である場合の検討					〔 地 域 要 因 〕	J R 中央線荻窪駅から徒歩圏内に存する生活利便性の良好な住宅地域であり、地価はやや上昇傾向にある。					
	代表標準地	標準地					〔 個別的 要 因 〕	価格形成に影響を与える個別的要因の変動は特にない。				
	標準地番号											
	公示価格		円 / ㎡									
変動率		年間 +7.4 %	半年間 %									